



今年築一三〇年を迎えたまなび館（旧野村酒造主屋）庭園に伸びる水墨画のような枝ぶりのアカマツ。虫による被害で弱っており、幹の上部を切り、支柱を設置しました。歴史を感じさせてくれる姿を残していきたいものです。

### 一の坂川・ゲンジボタルの発生日報

伝承センターのホームページでは、中心市街地を流れる一の坂川での、ゲンジボタル（成虫）の発生状況を随時ご報告しています。俊龍寺橋（天花）から錦橋（榎野川との合流地点付近）までの間で確認されたホタルの発光数を集計しています。

今年、初ボタル（成虫の初見日）は5月12日でした（昨年は5月6日）。赤れんが付近から木町橋辺りまで多くみられます。20時頃から光り始め、20:30~21:00頃が見頃です。

ゲンジボタルの保護・飼育のための活動を行っている大殿ホタルを守る会は、市教育委員会の許可を得て成虫を採取し（今年は6月1日の予定）、伝承センターの土蔵で飼育を行います。



（写真は 27 年の初ボタル）

### まちづくりNEWS ◆ミニ暮音小路◆

大内文化街道まちなみ協議会は4つの委員会（豎小路まちなみ、大路・小路、もっの一の坂、お宝再発見）に分かれて協議を続けてきました。

今回は豎小路まちなみ委員会を紹介します。豎小路は参勤交代の主要道萩往還という歴史を持ち、一の坂川に匹敵する素材の往来であるにもかかわらずこれまで街道の風景への配慮が行われずにきました。委員会では、都市計画道路の行方や、八坂神社前の駐車場の修景、十朋亭周辺の整備等について協議してきました。歴史を語る建物の保存のみならず、生活の利便性に密着しながらも豎小路らしい風情が感じられる景観についての提案をしました。様々な史跡を歩いて巡りたくなるコンパクトな界隈がこの街の魅力だと思います。住む方々にはもちろん、来街者にも優しい豎小路の風景づくりを邁進させていきたいと願っています。



指定管理者 ~NPO 法人山口まちづくりセンター~

# 6月スケジュール (無休)

黒字：教室 青地 (白文字)：OB会

日	月	火	水	木	金	土
29 ほたる観賞Week ~6/5	30	31	1	2	3	4
			パッチ④	和裁 レザー①	大内塗	手織 大内塗 竹細工 着付 鷺流
5 竹細工	6 和裁 型染① 和裁	7 陶芸A お魚料理 陶芸A お魚料理	8 竹細工 陶芸A お魚料理 パッチ①	9 レザー 陶芸B パッチ② 和裁 レザー③	10 陶芸B 手織	11 鷺流
12 こども茶の湯	13 和裁 型染② 和裁	14 ツール お魚料理	15 お魚料理 パッチ④	16 和裁 レザー①	17 大内塗 手織	18 大内塗 着付 竹細工 鷺流
19 竹細工	20 そば打ち抽選締切 和裁 型染④ 和裁	21 ツール	22 竹細工 パッチ① 染色	23 レザー パッチ② 和裁	24 手織	25 鷺流
26 こども茶の湯	27 型染 型染④ 和裁	28 ツール	29 パッチ④	30 そば打ち体験 和裁	7/1	2

## 夏休みものづくり体験・体験講座のご案内

### 陶芸

手口クロで湯呑みなどを一つ作ります。  
日 時：7月16日(土) ①10時~12時  
②13時~15時  
対 象：小・中学生①②各回15名  
(先着順、小学生は要保護者同伴)  
材料費：500円



### 木工

パズルのイゼル付額縁(A4サイズ)を作ります。  
日 時：7月24日(日) ①10時~12時  
②13時~15時  
対 象：小学生①②各回20名  
(抽選、要保護者同伴)  
材料費：1000円



### 大内塗

大内塗のビデオ鑑賞と説明の後、箸作りを体験します。  
日 時：7月23日(土) 13:30~15:00  
対 象：小・中学生50名  
(先着順、小学生は要保護者同伴。保護者の方も参加できます)  
材料費：860円(作品の宅配は送料実費負担)



### そば打ち体験

打ったそば3人前はお持ち帰り  
日 時：毎月最終週、6月は30日(木) 13:30~16:00  
定 員：14名(抽選にて選定)  
体験料：1000円(材料費含む)



申込受付：6月17日(金) ~ (木工・そば打ち体験受付は6月20日(月)まで)

## 染色教室

伝承センター教室紹介

「染色」は、世界中で大昔から人々の暮らしに彩りを与えてきました。技術も天然染料も各地にあった工夫と特徴があります。日本では主に京都で集約され発展してきました。日本人の持つ、繊細な色調、卓越した技術は、世界に誇る工芸です。制作過程は、何十もの工程があり、そのどの工程も修行を積んだ職人の手技によって作り上げられていきます。着物を例にとると、図案、下絵描き、糸目糊置、色挿し、蒸し、水元、金彩、刺繍と進んでいきます。手仕事で作られる一反の布から着物に仕立て上がるまで、一〇〇人の手がかかっていると言われて

います。教室では、受講生の方々の希望をお聞きして、年間の授業内容を決めて行っています。芸術大学で染織の専門教育を受けた講師が担当し、伝統的な技術と知識が豊富です。基礎から丁寧親切にわかりやすく説明があります。また、技法の資料も用意されています。いままでに、草木染、型染、ろうけつ染、絞り、藍染、袋物製作、作品の裏打ち技法、日本刺繍等を教室で取上げ、内容はバラエティに富んでいます。身近な生活用品(トートバッグ、手ぬぐい、スカーフ等)から、本格的な染額、お軸まで作ることができます。(10月~2月の10回コース、9月17日から申込受付開始、市報9月15日号掲載予定)受講生の感想  
・新しい体験ばかりで、楽しく勉強しています。  
・個性的な人達の中、色々な交わりを通して多くの事を学べる会です。  
・一人一人の希望を大切に指導していただき感謝しています。  
・自分だけの作品が作れて楽しみです。



### 山口ふるさと伝承総合センター発行

〒753-0034 山口市下堅小路12  
TEL 083-928-3333 FAX 083-932-1877  
E-mail y-densho@c-able.ne.jp  
URL <http://y-densho.sblo.jp/>

館内見学時間  
9:00~17:00  
入場料 無料